

教育研究施設等

全国共同利用施設

※印は共同利用・共同研究拠点、☆印は大部門、◇印は客員研究部門、◎印は寄附研究部門

| 全国共同利用施設 | 設置目的 |
|----------------------------|---|
| | 研究部門等 |
| | 附属施設等 |
| ※学術情報メディアセンター 平成14年4月開設 | 情報基盤及び情報メディアの高度利用に関する研究開発を行い、教育研究等の高度化を支援する。 また、情報環境機構の行う業務を支援する。 ☆ネットワーク、☆コンピューティング、☆教育支援システム、☆デジタルコンテンツ、☆連携 |
| ※生態学研究センター 平成3年4月開設 | 生態学・生物多様性科学に関する研究を行う。 ☆生態学 |
| ※野生動物研究センター 平成20年4月開設 | 野生動物に関する教育研究を行い、地球社会の調和ある共存に貢献する。 ☆比較認知科学、☆動物園科学、☆保全生物学、☆人類進化科学、☆健康長寿科学、◎福祉長寿 幸島観察所（昭和44年6月開設）、屋久島観察所（昭和58年4月開設）、 熊本サンクチュアリ（平成23年8月開設） |

学内共同教育研究施設

※印は教育関係共同利用拠点、◎印は寄附研究部門

| 学内共同教育研究施設 | 設置目的 |
|------------------------------|--|
| | 研究部門等 |
| | 附属施設等 |
| 高等教育研究開発推進センター 平成15年4月開設 | 高等教育における教授法、教育課程、教育評価、教育制度、ICT活用等の教育システムに係る研究、 開発及び実践並びに本学の教育の改革及び改善について、専門的立場から調査、企画、実施及び評価し、 それに基づく助言及び協力を行う。また、実践的研究に基づく成果を、本学の教育の質の向上に供し、 及びその発信等により国内外の高等教育の発展に寄与する。 高等教育教授システム研究開発、教育メディア研究開発、教育アセスメント |
| 総合博物館 平成9年4月開設 | 学術標本資料の収集・収蔵と調査研究を主たる活動とし、資料の教育研究への活用をはかるとともに、 展示会等を通じて本学の研究成果の公開に貢献する。 また、教育研究の過程で生産される各種資料を体系的に収集・保存し、運用する研究資源アーカイブ事業を行う。 |
| フィールド科学教育研究センター 平成15年4月開設 | 森林生態系、里域生態系及び海洋生態系をつなぐ現場教育とフィールド研究を行うとともに、 学内及び国内外からの共同利用に供する。 研究推進、森林生態系、里域生態系、海洋生態系 ※芦生研究林（大正10年4月開設）、※北海道研究林標茶区（昭和24年4月開設）、 ※北海道研究林白糠区（昭和25年6月開設）、和歌山研究林（大正15年1月開設）、 ※上賀茂試験地（大正15年9月開設）、徳山試験地（昭和6年3月開設）、 北白川試験地（大正13年5月開設）、紀伊大島実験所（昭和15年4月開設）、 ※舞鶴水産実験所（昭和47年5月開設）、※瀬戸臨海実験所（大正11年7月開設） |
| 福井謙一記念研究センター 平成14年4月開設 | ノーベル化学賞を受賞された福井謙一博士の研究理念を継承し、基礎化学及び関連する科学の諸分野に関する 研究を進展させ、学術研究の向上を図る。 総合研究、理論研究 |
| こころの未来研究センター 平成19年4月開設 | 心理学、認知神経科学、人文社会科学（公共政策、美学・芸術学、仏教学等）の学際的研究拠点として、 人のこころに関する総合的研究を行う。 ◎上廣倫理財団 ◎こころの豊かさ |

教育院等

| 学内組織 | 設置目的 |
|-----------------------|--|
| | 附属施設等 |
| 国際高等教育院 平成25年4月開設 | 教養・共通教育を実施するとともに、教養・共通教育全体の企画及び運営を総括する。 また、大学院共通・横断教育を実施するとともに、大学院共通・横断教育の企画及び運営を総括する。 国際学術言語教育センター（平成26年4月開設）、日本語・日本文化教育センター（平成28年4月開設）、 データ科学イノベーション教育研究センター（平成29年4月開設） |
| 環境安全保健機構 平成17年4月開設 | 環境安全保健業務及び低温物質管理業務を推進する全学組織として、学生総合支援センターとも連携を図り、 環境安全保健活動を総合的かつ効果的に行う。 環境管理部門・環境科学センター（平成23年4月開設）、 安全管理部門・安全科学センター（平成23年4月開設）、 放射線管理部門・放射性同位元素総合センター（平成23年4月開設）、 健康管理部門・健康科学センター（平成23年4月開設）、 低温物質管理部門・物性科学センター（平成28年4月開設） |
| 情報環境機構 平成17年4月開設 | 全学の情報基盤の充実及びこれに基づく情報環境の整備等を推進するための全学組織として、 全学の情報基盤に関する企画、整備、管理及び運用、多様な情報サービスの提供及びそのための高度かつ安全な情報環境 の構築及び提供及び高度な情報技術、情報活用能力を備えた人材の育成を行う。 IT企画室（平成23年4月開設） |
| 図書館機構 平成17年4月開設 | 附属図書館及び部局の図書館等が連携して、図書、学術情報データベース等を収集、運用、整備するとともに、 学外の学術情報資源の効率的な利用サービスの体制を整備することにより、学生、研究者等の学術情報の活用 を促進する。 |

| 学内組織 | 設置目的 附属施設等 |
|---------------------------|---|
| 産官学連携本部 平成19年7月開設 | 産官学連携の推進及び支援に係る企画立案等を行うとともに、産業界又は官公庁との共同研究及び受託研究の推進及び支援、産官学における国際的連携又は地域社会連携の推進及び支援、知的財産権の取得、管理、活用等、ベンチャーの育成、起業支援等その他本学の産官学連携活動の推進及び支援に関する業務を総括する。 |
| オープンイノベーション機構 令和元年7月開設 | 産学連携の推進を促すため、全学の研究テーマをベースに「組織」対「組織」の大型産学連携プロジェクトの企画・提案と当該プロジェクトの集中マネジメントを行う。産官学連携本部と連携しつつも、持続的・自律的経営が可能なプロフィットセンターとして、共同研究の展開への集中的マネジメントの実施に基づき、産業界との協働によるイノベーション創発活動の成果を社会に還元する。 |
| 国際戦略本部 平成28年4月開設 | 国際戦略に係る施策の企画立案及び調整を行うとともに、国際交流に係る支援、海外拠点の設置・運営、その他国際化の推進に関する業務を行う。 |
| 学生総合支援センター 平成25年8月開設 | 学生等の修学上及び適応上の相談並びにハラスメント相談への対応、就職支援、キャリア形成支援、障害のある学生の修学上等の支援等を行う。 |
| 大学文書館 平成12年11月開設 | 公文書等の管理に関する法律（平成21年法律第66号）に基づく特定歴史公文書等その他京都大学の歴史に係る各種の資料の収集、整理、保存、閲覧及び調査研究を行う。 |

■ 高等研究院

| 学内組織 | 設置目的 | | | | |
|--|--|--|---|-----------------------------|---|
| 高等研究院 平成28年4月開設 | <p>本学の特色及び強みを活かして国際的な最先端研究を展開することにより学術の発展及び人材育成を図るとともに、その研究による成果を社会に還元する。</p> <p>研究拠点</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">物質—細胞統合システム拠点 (平成19年10月開設、平成29年4月高等研究院の研究拠点として改組)</td> <td>「世界トップレベル研究拠点プログラム」を継承し、物質科学と細胞科学を統合した新たな学問領域の創出を目指す。</td> </tr> <tr> <td>ヒト生物学高等研究拠点 (平成30年10月開設)</td> <td>「世界トップレベル研究拠点プログラム」として、多分野を融合した学際的方法論を用いた先進的ヒト生物学の確立を目指す。</td> </tr> </table> <p>連携研究拠点等（○印は連携研究拠点、◎印は寄附研究部門）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産総研・京大 エネルギー化学材料オープンイノベーションラボラトリ（平成29年4月開設）、 ○理研—京大科学技術ハブ（平成30年3月開設）、◎医学物理・医工計測グローバル拠点（平成30年1月開設） | 物質—細胞統合システム拠点 (平成19年10月開設、平成29年4月高等研究院の研究拠点として改組) | 「世界トップレベル研究拠点プログラム」を継承し、物質科学と細胞科学を統合した新たな学問領域の創出を目指す。 | ヒト生物学高等研究拠点 (平成30年10月開設) | 「世界トップレベル研究拠点プログラム」として、多分野を融合した学際的方法論を用いた先進的ヒト生物学の確立を目指す。 |
| 物質—細胞統合システム拠点 (平成19年10月開設、平成29年4月高等研究院の研究拠点として改組) | 「世界トップレベル研究拠点プログラム」を継承し、物質科学と細胞科学を統合した新たな学問領域の創出を目指す。 | | | | |
| ヒト生物学高等研究拠点 (平成30年10月開設) | 「世界トップレベル研究拠点プログラム」として、多分野を融合した学際的方法論を用いた先進的ヒト生物学の確立を目指す。 | | | | |

■ その他の学内組織

| 学内組織 | 設置目的 附属施設等 |
|---------------------------------|---|
| アフリカ地域研究資料センター 平成8年4月開設 | アフリカにおける学術研究および交流の推進、国際学術誌African Study Monographsの編集発行、公開研究会、公開シンポジウム、市民公開講座の開催、国際学術協定等に基づく研究交流の推進、社会貢献プロジェクトの推進、関連研究機関との情報交換を行う。 |
| 白眉センター 平成21年9月開設 | 次世代研究者育成支援事業の企画運営を行うとともに、同事業により雇用する教員の受入部局との協議調整その他次世代研究者育成支援事業の円滑な実施に関し必要な事項を処理する。 |
| 学際融合教育研究推進センター 平成22年3月開設 | 学際的な教育研究を推進するための支援を行う。 |
| 大学院横断教育プログラム推進センター 平成30年4月開設 | <p>統合複雑系科学国際研究ユニット（平成22年4月開設）、ナノテクノロジーハブ拠点（平成22年11月開設）、こころの科学ユニット（平成22年12月開設）、日本—エジプト連携教育研究ユニット（平成22年12月開設）、地域連携教育研究推進ユニット（平成23年4月開設）、生理化学研究ユニット（平成23年4月開設）、政策のための科学ユニット（平成24年1月開設）、森里海連携学教育研究ユニット（平成24年4月開設）、実験と理論計算科学のインタープレイによる触媒・電池の元素戦略研究拠点ユニット（平成24年6月開設）、構造材料元素戦略研究拠点ユニット（平成24年6月開設）、アジア研究教育ユニット（平成24年12月開設）、高度情報教育基盤ユニット（平成25年1月開設）、宇宙総合学研究ユニット（平成25年4月開設）、社会科学統合研究教育ユニット（平成26年4月開設）、グローバルヘルス学際融合ユニット（平成26年10月開設）、活力ある生涯のためのLast5Xイノベーションユニット（平成26年10月開設）、インフラシステムマネジメント研究拠点ユニット（平成26年11月開設）、次世代研究創成ユニット（平成27年2月開設）、Future Earth研究推進ユニット（平成27年12月開設）、スマートエネルギーマネジメント研究ユニット（平成28年4月開設）、ヒマラヤ研究ユニット（平成28年4月開設）、レジリエンス実践ユニット（平成28年4月開設）、スーパーグローバルコース数学系ユニット（平成28年4月開設）、スーパーグローバルコース化学系ユニット（平成28年4月開設）、スーパーグローバルコース医学生命系ユニット（平成28年4月開設）、スーパーグローバルコース人文社会科学系ユニット（平成28年4月開設）、アフリカ学際研究拠点推進ユニット（平成28年7月開設）、超高齢社会デザイン価値創造ユニット（平成28年12月開設）、熱帯林保全と社会的持続性研究推進ユニット（平成28年12月開設）、アカデミックデータ・イノベーションユニット（平成29年11月開設）、人工知能研究ユニット（平成29年11月開設）、水・エネルギー・災害研究教育ユネスコチェアユニット（平成30年4月開設）、人社未来形発信ユニット（平成30年10月開設）、アジア環太平洋研究ユニット（平成30年10月開設）、光子センシング研究拠点（令和元年11月開設）、モビリティ基盤数理研究ユニット（令和2年2月開設）、非線形・非平衡プラズマ科学ユニット（令和2年2月開設）</p> |
| 大学院横断教育プログラム推進センター 平成30年4月開設 | <p>大学院横断教育プログラムとして本学が実施する博士課程教育リーディングプログラム及び卓越大学院プログラムにおける教育の質を保証するために必要な業務を行う。</p> <p>グローバル生存学リーディング大学院、充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成リーディング大学院、デザイン学リーディング大学院、霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院、先端光・電子デバイス創成学卓越大学院、メディカルイノベーション卓越大学院、プラットフォーム学卓越大学院</p> |
| 研究連携基盤 平成27年4月開設 | 研究所等の連携の強化及び支援、本学における学際的研究の推進及び支援、研究所等における研究者育成の推進及び支援に関する業務を行う。 |
| 学術研究支援室 平成24年4月開設 | 本学の研究力強化を目的として、研究者の研究活動の推進支援や大学運営支援を担う。具体的には、競争的外部資金の獲得支援、研究プロジェクトのマネジメント支援、産官学連携の推進支援や学内ファンドなど全学的な研究力強化施策の推進支援、研究の国際化推進支援、研究力分析、プロボストオフィス業務支援などを行う。 |
| 高大接続・入試センター 平成28年4月開設 | 本学の教育・入試制度・魅力等の発信を行うとともに、高等学校教育からの円滑な学びの移行を支援する。また、より一層効果的な入学者選抜のあり方等に係る調査研究等を行う。 |
| 男女共同参画推進本部 平成26年4月開設 | 男女共同参画の推進に係る諸施策を企画立案及び実施、男女共同参画に係る調査及び分析その他男女共同参画の推進及び支援に関する業務を行う。 |